

## 第199回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日 時: 2006年11月21日(火) 13時~17時20分

会場: [東京理科大学薬学部校舎](#) 薬学部1442教室(14号館4階) [アクセス](#)  
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]  
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。  
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

### 講演主題: 分析における信頼性の確保

開催趣旨: HPLCやLC/MSを用いた分析においては、適切な製品を正しく用いないと正確な分析結果が得られません。一方で、分析の正確さや再現性に対する社会的要請は高まってきています。今回の研究懇談会では「分析における信頼性の確保」を主題として、分析装置、標準物質、試薬などの選択と取り扱いについて解説します。併せてHPLCカラムや前処理製品の上手な使い方について紹介します。

#### 講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(アステラス製薬(株)) 大津 善明

2. ハイスループット分析対応LC/TOF MSによるクロマトグラフィーピーク定量精度評価 (13:05~13:25)

(日本電子(株)) 金田 恵子

3. HPLC分析における信頼性確保のための基本ノウハウ (13:25~13:55)

((株)島津製作所) 三上 博久

4. ISPE GAMP4に基づいたHPLCのバリデーションの実際の紹介 (13:55~14:35)

((株)日立製作所) 本田 俊哉

5. 前処理によるマトリックス効果除去 (14:35~14:55)

(日本ウォーターズ(株)) 佐々木 俊哉

6. くせの無いカラムで信頼性確保! Ascentis C18 (14:55~15:15)

(シグマアルドリッチジャパン(株)) 石倉 正之

7. 試薬における規格と保証期限 (15:30~15:50)

(関東化学(株)) 佐藤 尚之

8. 分析値の信頼性確保のための標準物質の役割と開発 (15:50~16:10)

((独)産業技術総合研究所) 鎗田 孝

9. GLP組織における非GLP試験の信頼性確保 (16:10~16:50)

10. 総括:分析信頼性 (16:50~17:20)

(東京理科大学薬学部)中村 洋

---

**参加費**(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、会員外:3,000円、学生:500円(当日受付にてお支払い下さい)。

---

**カタログ展示**

1小間:5,000円(場所スペースは運営委員に一任させていただきます)

---

**懇親会**

講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します(薬学部食堂を予定)。会費:1,000円。

---

**申込方法**

参加希望者は、別紙の参加申込書([ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい)にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい(定員をオーバーした場合のみご連絡します。)

**申込先**

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号  
(社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会  
[電話:03-3490-3351、FAX:03-3490-3572]